

インターネット福祉保健モニターアンケート結果

「健康食品に関する意識や認知度等」について

福祉保健局では、都の福祉・保健・医療施策への御意見をいただくことを目的に、18 歳以上の都民を対象に、インターネットを用いたモニター制度を実施しています。

この度、モニターに登録している方を対象に、健康食品に関する意識や認知度等についてアンケート調査を実施したので、概要と結果をお知らせいたします。

アンケート結果のポイント

アンケートの概要、回答者属性、設問と結果の詳細は別紙
(有効回答数: 329 N: 回答数)

◆健康食品を現在利用している人は約 4 割、以前利用していた人は約 3 割

・健康食品を利用しているか聞いたところ、「現在利用している」人は 37.7%、「一度も利用したことがない」人は 34.0%、「以前利用していたが現在は利用していない」人が 28.3%であった (Q 1 N=329)。

◆基礎疾患がある人で健康食品を利用する前に、摂取について専門家に相談していない人は約 7 割

・健康食品の利用時に基礎疾患がある(あった)人の約 7 割が、利用前に専門家には相談していなかった。専門家に相談した割合では、「医師に相談した」人が 23.3%、「薬剤師に相談した」人が 7.8%、「登録販売者に相談した」人が 2.2%であった (Q 4 N=90)。

◆健康食品を利用する目的は、栄養(ビタミン・ミネラル等)補給が約 6 割

・健康食品を利用している又は以前利用していたと回答した人へ健康食品を利用する(した)目的は何か聞いたところ、「栄養(ビタミン・ミネラル等)補給」が 62.2%で最も多く、次いで、「健康維持・増進」が 47.0%であった (Q 6 N=217)。

◆健康食品を購入(摂取)する際に、「特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品であること」、「メーカー名」、「原材料、内容成分」、「効果・目的」に重点をおいて選択している人がそれぞれ約 4 割

・健康食品を購入(摂取)する際に何に重点を置いて選択するか聞いたところ、「特定保健用食品、栄養機能食品、機能性表示食品であること」が 42.9%、「メーカー名(信用できる企業か、等)」が 42.2%、「原材料、内容成分(原材料、原産地、食品添加物等)」が 41.0%、「効果・目的」が 40.1%であった (Q 7 N=329)。

◆健康食品を購入する際、「商品のチラシ、パンフレット」、「テレビ・ラジオの番組やコマーシャル」、「企業のホームページや SNS」を参考にすると答えた人は、それぞれ約 3 割

・健康食品を利用している又は以前利用していたと回答した人へ健康食品を購入する際、どのような情報を参考にしたか聞いたところ、「商品のチラシ、パンフレット」、「テレビ・ラジオの番組やコマーシャル」、「企業のホームページや SNS」と回答した人はいずれも 3 割を超えていた (Q 16 N=217)。

【問合せ先】

福祉保健局総務部総務課

電話 03-5320-4015 内線 32-120、32-143

今回のアンケート概要

テーマ： 「健康食品に関する意識や認知度等」について
期間： 令和4年12月15日（木曜日）正午から、同月28日（水曜日）正午まで
方法： インターネット（モニターがアンケート専用サイトから回答を入力する）
対象モニター数： 481名
有効回答数： 329名
回答率： 68.4%

今回のアンケート回答者属性

※有効回答数329人を100%としたときの割合

性別	男性	165人	50.2%
	女性	164人	49.8%

年代別	20代以下	3人	0.9%
	30代	11人	3.3%
	40代	45人	13.7%
	50代	93人	28.3%
	60代	87人	26.4%
	70代以上	90人	27.4%

職業別	会社員	98人	29.8%
	団体職員（NPO含む）	15人	4.6%
	自営業	24人	7.3%
	福祉サービス提供事業経営者	4人	1.2%
	福祉サービス提供事業従事者	46人	14.0%
	教職員	0人	0%
	学生	2人	0.6%
	主婦	50人	15.2%
	無職	50人	15.2%
その他	40人	12.1%	

※別紙の集計結果は百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。
そのため、合計が100.0%にならないものがある。